

新型コロナウイルス対応の国の指針と今後の対応について

2023年3月17日 新日本スポーツ連盟感染症対策本部

5月8日、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、「2類」からインフルエンザと同じ「5類」に移行されます。新型コロナは、新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）の対象から外れます。

新日本スポーツ連盟では2月11日の評議員会で、2類から5類への移行で医療機関、医療従事者への過度の負担にならない整備が、国には求められると指摘しています。その後、2月20日のラジオ番組では、日本の新型コロナによる死亡者数は少ないが、超過死亡数（*注参照）を含めるとOECD（38カ国）で最大になっていることが報道されています。

3月14日現在の感染者数は全国で1万328人と、減少傾向となっていますが、全数把握ではないことを見なければなりません。5月8日からの感染症法上の変更を前に、政府のマスク着用ルールが13日、緩和され、個人の判断にゆだねられましたが、着用の効果的場面を例示し、引き続き推奨するとしました。文科省は、学校については4月1日からマスク着用は求めないとしています。

*注：「コロナに関係して肺炎などもらもろの病気で亡くなった人の数で、「コロナを直接的な原因としていないが、コロナに関係して肺炎などもらもろの病気で亡くなった人の数」をいいます。

行事、大会などでの対応は、今後も継続を！

「5類」に変更後の身近な感染対策について、厚生労働省の専門家会合は「5つの基本」として示しています。

発表された対策は、「密閉・密集・密接の3密の回避」、「換気」とともに「外出時はマスクを持ち歩き、着用が呼びかけられる場面では着ける」事、「感染が疑われる症状があれば仕事を休み、症状と体温を確認」すること、そして、「手洗いも有効」で、食事の前やトイレのあと、帰宅時に行うこととしています。これらは、これまでも重視された点でもあります。

こうした内容を見たとき、これまで新スポ連各種目での取り組みは重要になり、こうした基本的な感染対策は継続することにご協力、ご理解をお願いいたします。

各種目組織での個別の対応もあるかと思えます。情報をお寄せください。

例：野外でのマスクをしての声出し応援を可能にすること。室内競技での参加数制限の緩和など。

以上

【資料】

| 新型コロナウイルス感染対策「5つの基本」 ^{NHK} | | 新型コロナウイルス 身近な感染対策 ^{NHK} | | |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|-----|-----------------------|
| | | 今後 | ← | これまで |
| ① 体調不安や症状あるときは 自宅療養か医療機関を受診すること | | 距離の記載なし | 間隔 | できるだけ2m |
| ② その場に応じマスク着用やせきエチケット | | その場に応じた着用 | マスク | 外出時など着用を |
| ③ 3密を避けることと換気 | | 言及なし | 移動 | 流行地域 往来控える |
| ④ 手洗い | | 具体的な場面 示されることなし | 日常 | 食事 イベント参加等 場面ごとに対策 |
| ⑤ 適度な運動と食事 | | | | |